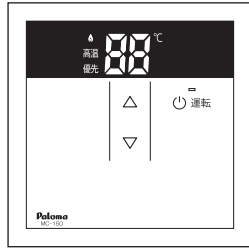


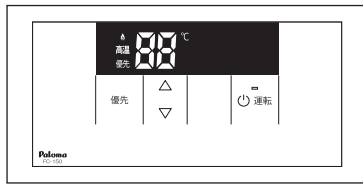
ガス給湯器用リモコン 取扱説明書

Paloma

台所リモコン 【MC-150】



浴室リモコン 【FC-150】



もくじ

各部のなまえ	1
お湯の出しかた	2
給湯温度を調節するには	2
優先スイッチについて	3
操作確認音量を調節するには	4
点検とお手入れ	4
故障かな?と思ったら	5
保管とアフターサービス	6

このたびはガス給湯器用リモコンをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。
- この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
- ガス給湯器本体の「取扱説明書」もあわせてご覧ください。
- この機器は国内専用です。海外では使用できません。
- 取扱説明書を紛失された場合はパロマまでお問い合わせください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■絵表示について
次のような意味があります。



分解禁止



高温注意



必ず行う



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



分解禁止

■絶対に改造・分解は行わない

改造・分解は思わぬ事故や故障、火災の原因になります。

おねがい

- この製品は家庭用ですので業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。
*この場合の修理は保証期間内でも有料になります。
- リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。
- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。台所リモコンは防水タイプではありません。炊飯器、電気ポットなどの蒸気にもあたらないように注意してください。また、台所リモコンの周りの壁にかけてたれた洗剤や水はリモコンにかからないようにふき取ってください。故障の原因になります。
- リモコンは乱暴に扱わないでください。
- サウナなど室温が55℃を超える場所に取り付けしないでください。故障の原因になります。
(5~55℃の範囲内で使用してください。)

各部のなまえ

リモコン表面に保護シートが貼ってある場合は、はがして使用してください。

台所リモコン【MC-150】

… 台所などに取り付けるリモコンです。

表示部

給湯温度を表示します。
不具合が発生した場合にはエラーコードが表示されます。

燃焼ランプ

点灯：機器が燃焼しています。

高温ランプ

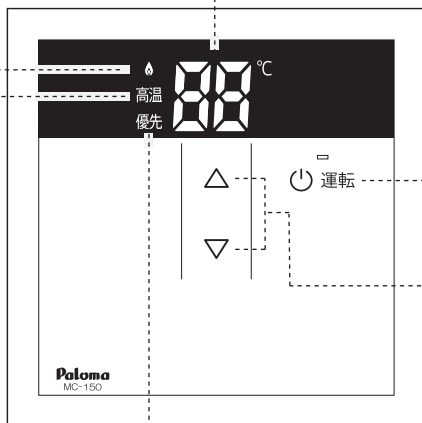
点灯：給湯温度が60℃以上の設定のとき

優先ランプ

点灯：リモコンの優先権あり



温度調節は優先権のあるリモコンでのみ可能です。



運転スイッチ

運転の「入」「切」を行います。
※運転スイッチの「入」「切」はすべてのリモコンで連動します。

選択スイッチ

給湯温度の調節をするときに使用します。

浴室リモコン【FC-150】

… 浴室内に取り付けるリモコンです。

表示部

給湯温度を表示します。
不具合が発生した場合にはエラーコードが表示されます。

燃焼ランプ

点灯：機器が燃焼しています。

高温ランプ

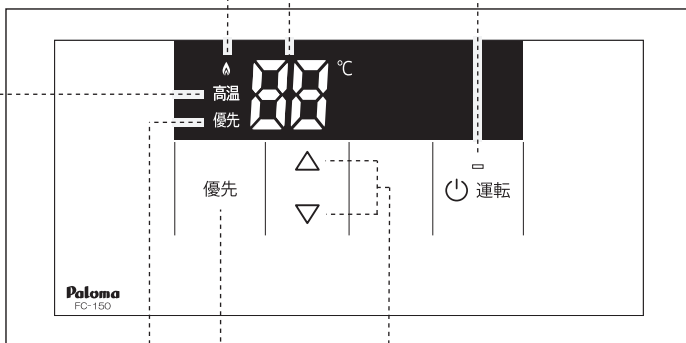
点灯：給湯温度が60℃以上の設定のとき

優先ランプ

点灯：リモコンの優先権あり



温度調節は優先権のあるリモコンでのみ可能です。



運転スイッチ

運転の「入」「切」を行います。
※運転スイッチの「入」「切」はすべてのリモコンで連動します。

選択スイッチ

給湯温度の調節をするときに使用します。

優先スイッチ

リモコンの優先権を切り替えるときに使用します。

運転 **お湯の出しかた**

警告

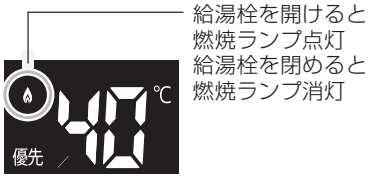
1 運転スイッチを押し、
運転ランプの点灯を
確認する



■お風呂でお湯を使うときは、
必ず浴室リモコンの優先
スイッチを押して優先にする
必ず行う

→優先にしないと台所リモコンで温度を変更できるためやけどのおそれがあります。
※浴室リモコンの優先ランプが点灯していることを必ず確認してください。
※優先スイッチについて(☞3ページ)を参照してください。

2 給湯栓を開ける



3 給湯栓を閉める



おねがい

リモコンの運転スイッチが「切」の状態では水を使用する場合、混合水栓は必ず「水」の位置で使用してください。「湯」の位置で水を流すと機器内が結露して点火不良や故障の原因になります。

★知っておいてね★

- 初めてお使いになるときなどはガス配管中に空気が入っていて点火しないことがあります。(給湯栓の開閉操作を2~3回くり返してください。)
- 給湯栓を絞り過ぎると消火します。(給湯栓をもっと開けて使用してください。)
- 2か所以上で同時にお湯を使用したり、断続的に使用すると湯量、温度が不安定になることがあります。
- 夏期など水温が高い場合や、リモコンの設定温度を低くしている場合、機器が燃焼しないことや、リモコンの設定温度よりも高い温度のお湯が出る場合があります。

給湯温度を調節するには

* お使いの給湯器によって初期設定の温度や調節できる温度範囲が異なります。給湯器の取扱説明書をご覧ください。

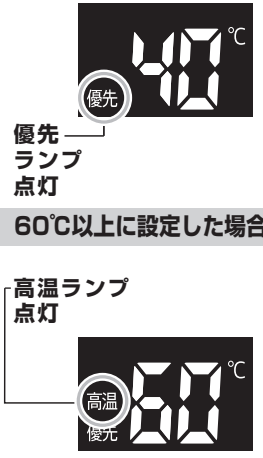
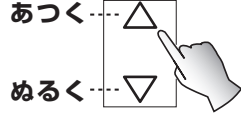
1 運転ランプの点灯を確認する

- 運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。
- 運転「入」時でも優先ランプが点灯していないと給湯温度を変更することができません。(☞3ページ)



2 選択スイッチを押し、給湯温度を調節する

- 35°C~45°Cまでは押し続けると連続して変わります。それ以降は1回押すごとに46、47、48、50、60°Cと変わります。
- 60°C以上に設定した場合、注意を促すため熱いお湯が出ることを高温ランプと音でお知らせします。(操作確認音を消音にしてもお知らせします。)
- 設定を記憶します。



温度の目安

35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	50	60
ややぬるめ			適温			ややあつめ			熱い					

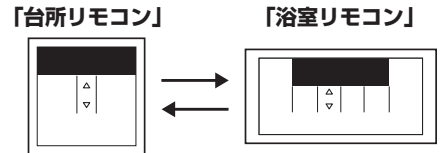
※表示の温度と実際の温度は設置条件(季節・配管長さなど)により必ずしも一致しません。表示の温度は目安としてください。

※ご希望により70°C設定を追加できる給湯器もあります。お買い上げの販売店かパロマまでお問い合わせください。

優先スイッチについて

給湯配管先と浴室では同じ温度のお湯を供給します。（台所リモコンと浴室リモコンは常に同じ給湯温度を表示します。）そのため、お湯を使用中に他の人が給湯温度を変更すると、お湯の温度が変わり、やけどのおそれがあります。このような事故を防止するために、どちらか一方の（優先権のある）リモコンでしか給湯温度を変えられないようになっています。

浴室リモコンの優先スイッチを押す



- 浴室リモコンの優先スイッチを1回押すごとに「浴室リモコン」と「台所リモコン」の間で優先権が交互に切り替わります。（優先権を持つリモコンの優先ランプが点灯します。）
 - リモコンの運転を「切」の状態から「入」にした場合、運転スイッチを「入」にした側のリモコンが優先権を持ちます。
 - 台所リモコンで給湯温度を変更できない場合は、一度台所リモコンの運転スイッチを「切」にし、再度「入」にして台所リモコンの優先ランプを点灯させてから使用してください。
- ※お風呂（特にシャワー）を使用している場合は、絶対にリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。お湯が急に水になります。

台所リモコンと浴室リモコンはそれぞれが優先権を持っていたときに設定した給湯温度を記憶しています。優先権が切り替わると優先権を持つリモコンが記憶していた給湯温度になります。

- 優先権のないリモコンでは給湯温度を変更できません。
- 給湯温度の変更以外は、優先権の有無に関係なく設定したり、変更することができます。

（例）台所リモコンで39℃、浴室リモコンで41℃に設定している場合



警告



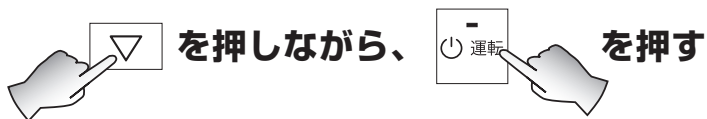
■お湯を使用するときにはやけどに注意する

- 高温設定にした場合、熱いお湯がでますので十分に注意してください。
 - 高温で使用した後、再度使用する場合、配管内に残った熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のために出始めのお湯は体にかけないでください。
 - やけど防止のため、お風呂（特にシャワー）を使用する場合は、必ず浴室リモコンを優先にしてください。絶対に浴室リモコン以外で給湯温度の変更をしないでください。
- ※お風呂（特にシャワー）を使用している場合は、台所リモコンの運転を切ったり、入れたりしないでください。台所リモコンに優先権が切り替わり、熱いお湯が出ることがあります。
- 給湯温度を変更する場合や、優先権を切り替える場合は、他の人がお湯を使用していないことを確認してください。

操作確認音量を調節するには

スイッチを押したときの「ピッ」という音などの操作確認音を調節します。

運転が「切」の状態



- 操作するたびに「大」⇒「小」⇒「消音」と切り替わります。
- 初期設定は「大」です。

★知っておいてね★

- 設定はそれぞれのリモコンで行ってください。両方同時には変わりません。
- 停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定「大」に戻ります。
- 給湯温度を60℃以上の高温に調節したときのお知らせ音は消すことができません。

点検とお手入れ

<日常の点検・お手入れは必ず行ってください。>

- 故障または破損したと思われる場合は使用しないで、お買い上げの販売店かパロマまで点検・修理を依頼してください。
- お手入れの際には必ず給湯器の電源プラグを抜き、ガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。電源プラグを抜くと操作確認音の音量設定が初期化されます。再度設定してください。
- お手入れの際、指先などのけがには十分注意してください。

■点検のポイント（ご使用のたびに）

- 運転中に異常音は聞こえますか？
- 外観に変色などの異常はありませんか？

■お手入れのしかた（月に1回程度）

水気をかたくしぼったやわらかい布に台所用中性洗剤を含ませて汚れを落とし、乾いた布で水気を十分ふき取る。

おねがい

- シンナー、ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤は使わないでください。機器損傷の原因になります。印刷・塗装面には、みがき粉・たわしなど固いものは使わないでください。表面を傷つけます。
- 浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。台所リモコンは防水タイプではありません。
- リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、リモコンの表示部にエラーコードが表示されていないか確認します。

※エラーコードはお使いの給湯器によって異なります。
エラーコードの詳細は給湯器の取扱説明書をご参照ください。



エラーコード

エラーコードが表示されたら

1 下記の操作を行ってください。

- ①お湯を使用している場合は、給湯栓を閉めてください。
- ②ガス栓と給水元栓が十分に開けてあるか確認してください。
- ③リモコンの運転スイッチを押し、運転を「切」にしてください。
1分ほど待ってから再び運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。
- ④給湯栓を再び開けてください。

給湯栓



ガス栓



給水元栓



2 それでもなおエラーコードが表示される場合、

- お使いの給湯器の取扱説明書に記載されたエラーコードが表示される場合は、給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチを押し、運転を「切」にする。給湯器の取扱説明書に記載された処置をした後、再使用する。それでもエラーコードが表示される場合は、**3**へ。
- お使いの給湯器の取扱説明書に記載されたエラーコード以外が表示される場合は、**3**へ。

3 給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチを押し、運転を「切」にし、ガス栓、給水元栓を閉めた後、お買い上げの販売店かパロマまで点検・修理を依頼する。
このとき作業を円滑に行うため、エラーコードの表示をお知らせください。

エラーコードが表示されていない場合

下記のような現象が生じた場合は、「原因と処置」に従って処置を行ってください。
また処置をしてもなお異常があるときや、ご不明な点はお買い上げの販売店かパロマまでご連絡ください。

現象	原因と処置
スイッチが点灯しない	停電していませんか？
	給湯器の電源プラグが抜けていませんか？

保管とアフターサービス

- 保管（長期間使用しないとき）は、リモコンの運転を「切」にし、給湯器の水抜きを行ってください。（詳しくは給湯器の取扱説明書をご覧ください。）
- アフターサービス・保証については給湯器本体に準じます。
- 給湯器の取扱説明書に保証書がついています。必ず「販売店名」や「お客様名」などが記入されていることをご確認ください。
- 当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器やリモコンに故障が生じた場合、明示した期間、条件のもと無料修理を行うことをお約束いたします。（詳しくは保証書をご覧ください。）
- 保証書を紛失されますと、保証期間内であっても有料修理になる場合がありますので、大切に保管してください。

「故障かな?と思ったら」を見て確認していただき、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かパロマサービスコールセンターまでご連絡ください。

パロマサービスコールセンターは24時間受付いたしますので、ご利用ください。

なお、アフターサービスをお申しつけのときは下記の内容をお知らせください。

- ① 品名
給湯器の器具名(銘板表示のもの)
- ② 現象(できるだけ詳しく)
- ③ ご購入日・ガス種
- ④ ご住所・お名前・電話番号
- ⑤ ご訪問希望日

《修理についてのお問い合わせは》

パロマサービス コールセンター	0120-193-860 受付時間：24時間修理受付
--------------------	--------------------------------------

《商品についてのお問い合わせは》

パロマ お客様相談室	052-824-5145 受付時間：平日 9:00~18:00 (土・日・祝日・弊社指定定休日を除く)
〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6番23号	



30314380001

W. K. P ① 30 31438